市民のひろば

まちの声

去る5月1日発生の自宅火災の際には、消防関係各位ならびにご近所をはじめ、市民の皆さま方には多大なご迷惑とご心配をおかけ致しましたこと深くお詫び申しあげます。また、多くの皆さま方よりお見舞いや励ましのことばをいただき心から感謝申しあげます。

本来ならば直接お伺いし、お礼のごあいさつを申しあげるべきところですが、誠に恐縮とは存じますが、誌面をおかりしてお詫びとお礼にかえさせていただきます。

本当にありがとうございました。

物部町安丸　山下　保唯
家族一同

掲示板

◆初心者弓道教室

初心者を対象とした弓道教室を開催します。興味のある方、体験してみたい方、経験者の方も、お気軽にご参加ください。道具も予備知識も必要ありません！運動に適した服装、靴下着用でご参加ください。

【日程】 8月11日（火）～9月11日（金）　全10回
毎週火・金19時～21時
【場所】 時久弓道場
土佐山田町須江
【対象】 一般男女
【定員】 5名程度
【参加費】 1500円
【講師】
県弓道連盟土佐山田支部
【問い合わせ・申込先】
香美市役所　岡本明弘
☎53－3115
（平日8時30分～17時30分）
時久弓道場（19時～21時）
☎52－3143

ただいま留学中㉖
孫　銘会（スン　ミンフィ）（中国・黒龍江省）

香美市の皆さん、こんにちは。中国の黒龍江から昨年4月に高知へ来ました。吉林大学大学院修士課程を卒業し、今は高知工科大学大学院博士2年、専門は情報工学です。私が所属している研究室は「誰でも使える人にやさしいコンピュータ」の研究をしています。コンピュータの使いやすさは人と情報環境のありようを決めます。視覚、聴覚情報に加えて、私は「触覚」を使う研究をしています。人間とコンピュータの情報交換に「触覚」を持ち込む「ハプティック技術」とよばれる新技術です。携帯電話着信を音ではなく振動で知らせることもこの分野の研究成果です。この研究は私にとって新しい分野でしたので、挑戦する気持ちで頑張っています。

香美市はとても美しく、特に川や山や桜が好きです。茶道・ホームステイ・紙の博物館・華道等に参加しました。とても楽しかったです。ホームステイ滞在中は、私を家族の一員として迎えてくれ、多くの日本文化を教えてもらいました。また、海辺や四万十川に行ったことも楽しかったです。日本の食べ物も好きで、初めて刺身を食べたとき少し抵抗感はありましたが、今は楽しんで食べています。

香美市の皆さんは親切で、たくさんの友達ができました。今私は日本語の勉強と専門の研究に頑張って取り組んでいます。趣味は音楽とバスケットボールです。たくさん日本の好きな歌がありますが、特に「千の風」と「昴―すばる」が好きです。

作：山﨑茉紀・宗石真奈
（山田高校マンガ部）

香美史探訪記
第3回　光明寺跡と阿弥陀堂
物部町仙頭

阿弥陀堂

国道195号線から新仙頭大橋（物部町）を渡ると、柚子畑が出迎えてくれる。集落の中心には阿弥陀堂が見える。阿弥陀堂説明板には、次のように書いてある。

「仙頭は古来小田々村といったが、永仁3年（1295年）景国専当職※1として寺領の統合にあたり、応永4年（1397年）岡之内小松中務正宗二男　小松入道が専当職となり、専当入道沙弥善住を名乗り、その子孫専当四郎左衛門章貞の代、永正6年（1509年）9月23日、岡豊城落城により城主長宗我部兼序（元秀）は一子千雄丸（国親＝元親の父）を連れて光明寺に逃れ、永正8年7月7日、岡豊城に帰城※2。そのため専当氏は代々長宗我部氏に仕え、仙頭（専当）または小松姓を名乗り、藩政時代には大庄屋・郷士などの名門として栄えた。明治初年、廃仏毀釈※3によって廃寺となった」

熊野社の荘園当時に制作された阿弥陀如来座像は、11世紀頃の熊野社の本地仏ではないかと考えられる。というのも、旧槇山村は、鎌倉時代には北条得宗家の荘園であり、弘安6年（1283年）、北条時宗が鎌倉の極楽寺に寄進し、幕府滅亡まで極楽寺が荘園領主であった。

南北朝動乱後は、足利氏の支配に属し、熊野神社の荘園に戻った。土佐国守護となった細川管領家が、五台山吸江庵との連絡所として、光明寺を利用したのではないかと思われる。室町時代、管領細川氏が石内名※4を重要視していたものと考えられる。

光明寺の古文書には次のように書かれている。

「応永4年（1397年）、細川管領家より石内名が光明寺に寄進せられ、石内名の名本職（なもとしき）（役人の一種）は、先例に任せて御公用等怠り無くなさるべく事」

「応永11年（1404年）、光明寺住職、同檀那沙弥善住に槇山石内半名を寄進するので、永泰院・宝性院・心鏡院・勝善院殿等の追善所となす」

大忍荘※5に属する槇山村は、室町時代に管領家から信頼された岡ノ内の名主が専当職に任用されたと思われる。

仙頭大橋下の上流部に三差路があり、そこには高さ1.3メートルほどの自然石の「丁石」がある。明治10年に建立されたもので、次のとおり書かれている。

「神明宮是より一里十八丁右へ　小松神社是より三里五丁
剣神社是より三六丁」（碑文のとおり）

この丁石は、地元仙頭日浦・押谷・影山崎そして萩野・赤岡・岸本の人たちの寄進によるものである。

（香美史談会）

日ノ地　丁石

※1　専当職とは荘官の職のひとつ。※2　四郎佐衛門は光明寺を修理して住まわせたと言われている。※3　明治初年の仏教排撃運動。神仏分離令が出されたのをきっかけに、各地で寺院・仏像の破壊が行われた。※4 石内名（いしうちみょう）地名。日ノ地のあたりを指す。※5 大忍庄（おおさとのしょう）土佐国の大きな荘園で現在の香南市香我美町～旧槇山村を指す。

編集後記

6月号・7月号と、2回にわたり特集した『シカ被害の実態』。掲載したような被害は香美市・四国内に限らず、北海道から鹿児島、東京都でも起こっており、全国的な問題となっています。

今回紹介したシカ肉のハンバーガーを食べる機会がありました。味は意外にも牛肉と変わりなく、おいしくいただきました。シカの肉は、牛肉や豚肉に比べて脂質が少なく、高タンパクで鉄分が多く含まれています。低カロリーで栄養たっぷりなら食べるしかありません。シカ肉料理を食べて、この夏を乗り切ってみてはいかがでしょうか。

（細木）